

第3回学校を核とした地域づくり

PTA活動とコミュニティ・スクール

～保護者が学校運営に参画すること～

川西市教育委員会事務局教育推進部 理事 福本 靖

NNPO法人放課後学習ボランティア支援の会 代表 今関 明子

1. 全国的に指摘されているPTA問題

1. 加入の強制

PTAは任意の団体、しかし加入を強制される
法律家もその違法性を指摘！

2. 会費徴収方法や使徒について

徴収や事務作業が学校業務と混同している
備品購入など公費の代替となっている

3. 個人情報の取り扱い

個人情報(電話番号や住所等)の扱いが杜撰

⇒ 議論の余地なし改善が急務

2. 大きく変わるPTA

1. 加入は強制できない

加入・脱退は任意であることの周知徹底

※加入届を年度当初に提出してもらうことが望ましい
(脱退の自由も保障→脱退届も常備)

2. 会費徴収方法や用途について

会費徴収について、事務作業を委託する

※備品購入については批判も多く慎重に！

3. 個人情報の取り扱い

SNSを活用し、ルールを明確化

個人情報(電話番号や住所等)を集めない

3. 活動見直しの必要性

★未加入者の増大

現状の組織・活動内容のまま(現状はほぼ100%でも)

↓入会届を取ると

約20%減から、半数程度になる学校も・・・？

↓未加入者が大幅に増えると

1. 加入者の負担がさらに増大し、脱退増へ
2. 会費が減収し、負担金や活動資金に支障

↓

★活動(組織)の見直しへ ※PTAの持つ本来の役割

4. PTA改革と地域の関係

★地域との関係の見直し

1. 地域とPTAの関係

地域活動の担い手が限定化され、高齢化が目立つ

↓PTAに依頼すれば動員や分担が安易

祭り等の行事でPTAの果たす役割が相対的に大きくなる

2. 地域関係者には「お世話になっている」実態

登下校の見守りや総合的な学習の講師等を依頼

※保護者はPTAとしてではなく、地域住民としての意識

※学校の活動(法に基づく)とPTA活動を区別する

5. 学校をとりまく課題

★多忙化と丁寧な指導の矛盾 = 学校の苦悩

※これからの時代に直面する大きな課題

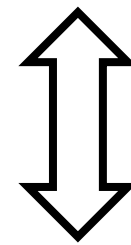
●多忙化が指摘される中で

・タイムカードによる勤務時間の管理 → とにかく時短

●現状求められるものは？

- ・特別な配慮を要する児童生徒は急増
- ・新学習指導要領への準備
- ・拡大し続ける学力格差 etc

とにかく
丁寧な指導



対立

学校の抱える
諸課題

学校改革

新しい学校の在り方

働き方改革

新学習指導要領

CSの導入

コロナ禍

GIGAスクール

etc

PTA問題

6. 何のためのCSか？

- ・地教行法改正の趣旨(抜粋)

学校運営についての地域住民、保護者等の意向が多様化、高度している。
そのニーズを学校運営により一層的確に反映させる仕組みを構築し、地域住民、保護者等が、共同して学校づくりを行うとともに、より透明で開かれた学校運営をめざす

- ・神戸市立学校におけるCSに関する規則の趣旨(抜粋)

地域住民、保護者の学校運営への参画および、支援、協力を促進
開かれた学校づくりを進め、学校運営の改善及び児童生徒等の健やかな育成

案外、ねらいは明確です。これを目指します

7. CSに対する否定的な考え

- 従前の組織（**評議会**や**協働本部**）と何がちがう？
- 事務局として**学校の負担**だけが増えている
- そんな**都合のいい人**が集まらない
- 日本式（人事権、予算権なし）は骨抜き
- 教育委員会の義務や責任が明確でない
- 教職員の理解が得られない

8、CSが機能するために

- CSの地域は「学校外」のイメージ
- 一定の権限を与える（教育委員会の裁量）
- 学校が支援してもらったためだけの組織ではない
- 学校が抱える諸課題への対応が大きな役割
- 保護者（PTA）が最大の当事者で、積極的な関与が必須、保護者も地域の一員
- 校長（学校）の責任を分担する覚悟